

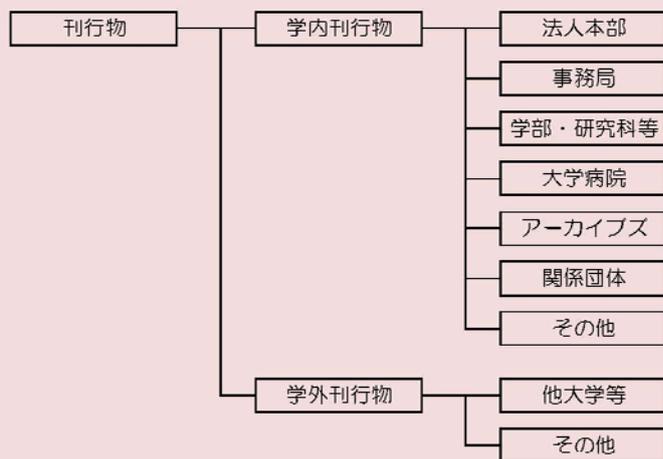
## AMUA 保存資料④—刊行物—

今回は、AMUA保存資料の分類(右下図)のうち「刊行物」について紹介します。

一般的に刊行物とは、その名の通り、刊行された文書や図画をさします。刊行物は、その刊行形態などの違いに着目して、逐次刊行物(終期を定めずに刊行される)、定期刊行物(あらかじめ刊行期日が定まっている)、不定期刊行物(刊行期日が定まっておらず必要に応じて刊行される)等々に分類されています。



「刊行物」資料の細分類一覧



さて、AMUAは学校法人愛知医科大学の歴史に係る各種の資料の収集、整理、保存、活用、調査・研究などを行うための施設であるため、保存対象となる刊行物は原則として愛知医科大学の歴史に関係するものが中心となります。その際、右下図に示したように、便宜的に「図書」や「写真」を除いています。そのうえで、これら刊行物の作成主体が本学

(関連団体を含む)であるか否かに応じて「学内刊行物」または「学外刊行物」のいずれかに区分して管理されることとなります。

左の表に「刊行物」の細分類を示しました。学内刊行物として扱われるものは、法人本部、事務局、学部・研究科等の教育研究組織ならびに大学病院などが作成する刊行物(定期・不定期は問わない)となります。一例をあげると、大学要覧、学報、各種パンフレット、学生便覧、同窓会会報などがこれに該当します。また、学外刊行物として扱われるものは、他大学等から送付されてくる刊行物のうち本学において保存・活用すべきものが中心となります。他大学の学報、広報誌、記念誌などがこれに該当します。



AMUAでの資料分類